

新仕様 天井用ポリスチレン製モールド（モールディング）施工要領書

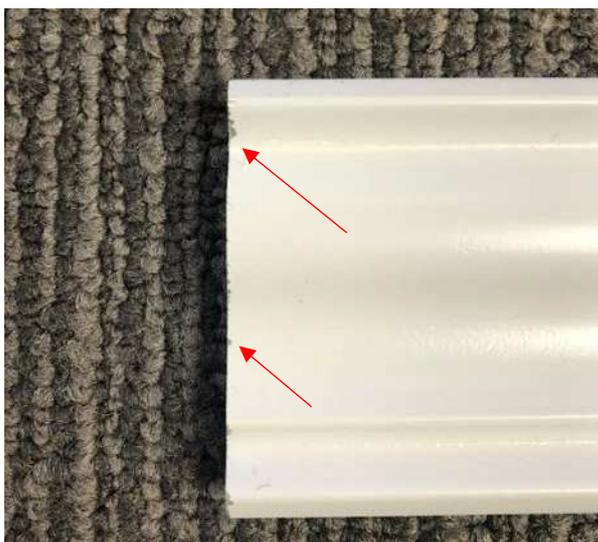
ポリスチレン製モールディングは押出成形で製造しており、高い寸法安定性を持っていますが、若干の寸法差が生じる可能性もありますので、お含みおきください。

施工面に不陸がある場合、更に段差が発生することもありますので、ベニアクサビ等を用いて不陸調整を行い、コーキングで各ジョイント部の隙間を埋めて納める事を前提に施工してください。

1、施工面に大きな不陸、汚れ、埃がないことを確認します。今回は石膏ボード面への施工例で、通例通り壁紙を後行程で施工する場合があります。



2、カタログ等で正しい天地の向きを確認します。端は凹みや印刷の欠落がありますので、横切り電動スライダなど必ず両端を数 mm カットしてください。



3、モールドを正しい位置にセットして鉛筆や墨壺で墨を打ち、ライン取りをします。



4、施工するモールドで 30cm 程度のカット片を 2 枚作り、水平軸、垂直軸の角度調整ができる押し切り電動スライダを用いて何度か試し切りをしながら入隅の水平軸、垂直軸の角度を割り出していきます。大方の角度を割り出した後に小口微調整をカンナで行います。
※モールドの表面形状は、品番によって違います。電動スライダーに置いたモールドは必ず座りの良い基準位置を決めて固定した後にカットしてください。固定位置がその都度ずれるとカット角度が変わってしまいますので、ご注意ください。

※電動スライダーでカットした直後にカット面の削りカスが端部に付着する場合があります。カットした後に小口面をチェックし、必要に応じてサンディング処理してください。

※裏面がフラットではない 3D タイプのモールドの入隅カット角度の参考値：

MM80 水平軸角度 35° 垂直軸角度 30.5、 MM82 水平軸角度 34.5° 垂直軸角度 30.5°

出隅の角度は、上記垂直軸の角度と同じ角度で左右対称の反対側に刃の角度を設定してください。この角度はあくまで参考の近似値角度であり、角度を割り出した後にカンナ等で微調整をしてください。





5、壁・天井面に接する部分へ均一に水性木工用・多用途ボンドを塗ります。はみ出したボンドは軽く水で濡らしたウエス等で拭き取ってください。



6、モールドを墨線に合わせて固定し、コンプレッサーに接続したフィニッシュガンでピンネイル（推奨）、またはフィニッシュネイルを打って固定していきます。ネイルの施工スパンは、商品の大きさにもよりますが、約 50cm 程度の間隔で打っていきます。



※モールドは 2~2.4mの長さがありますので、この行程から二人一組で一人がモールドを支えながら施工すると効率がよく行えます。

※フィニッシュネイルは打ち込んだ跡が目立ちにくいピンネイル、または より強固に固定したい場合は、ネイルの太いフィニッシュネイルとの併用をおすすめいたします。

※事前に使用するモールドの長さに対して、施工する直線部分の全長を加味してなるべく短い長さのジョイント部分が発生しないように割り付けてください。

※フィニッシュネイルは、モールドの凹部に打つと跡が目立ちにくくなります。



7、モールドの施工が終了したら、直線部、入隅、出隅のジョイント、フィニッシュネイル跡に水性コーキングを充填して綺麗におさめます。

※今回、壁紙が後行程の場合ですので、壁紙を施工後にモールドの上部、下部にコーキングを打ち、不陸による隙間を埋めて納めてください。

※コーキング注入後、指やウエスで隙間に擦り込みながらはみ出たコーキングを拭き取ります。フィニッシュネイル跡も同様にコーキングでタッチアップします。



8、施工箇所を見て回り、コーキング補修不備、フィニッシュネイルの浮き等がないか確認し、施工を完了します。



当商品はフィルムラッピングしており、表面の白で良ければ塗装仕上げ不要です。

※製造工程上多少の色差が生じる場合があります。

他の色に塗装したい場合、サンディング・シーラー処理が必須です。仕上げ塗装については、使用される塗料メーカーの施工要領書に従って塗装してください。また、必要に応じて塗装業者にご相談ください。

背面がフラットタイプのチェアレールモールドも、当施工要領書に準じて施工してください。チェアレールモールドの出隅、入隅カットは用途に応じて電動スライダの水平軸か垂直軸の角度設定のみで可能です。

【補足：ジョイントに段差が生じた場合の納め方】

当製品は前述の通り若干の寸法差が生じる可能性があります、そこに下地の不陸が加わり、商品表面の段差が更に大きくなる場合があります。

その場合、図のようにベニアクサビで調整した後、必ずコーキングタッチアップして納めるようにしてください。



段差調整後に、再度ジョイント付近にフィニッシュネイルを打ち、モールドを完全に固定します。その後、ベニアクサビのはみ出た部分をカッターでカットします。



以上